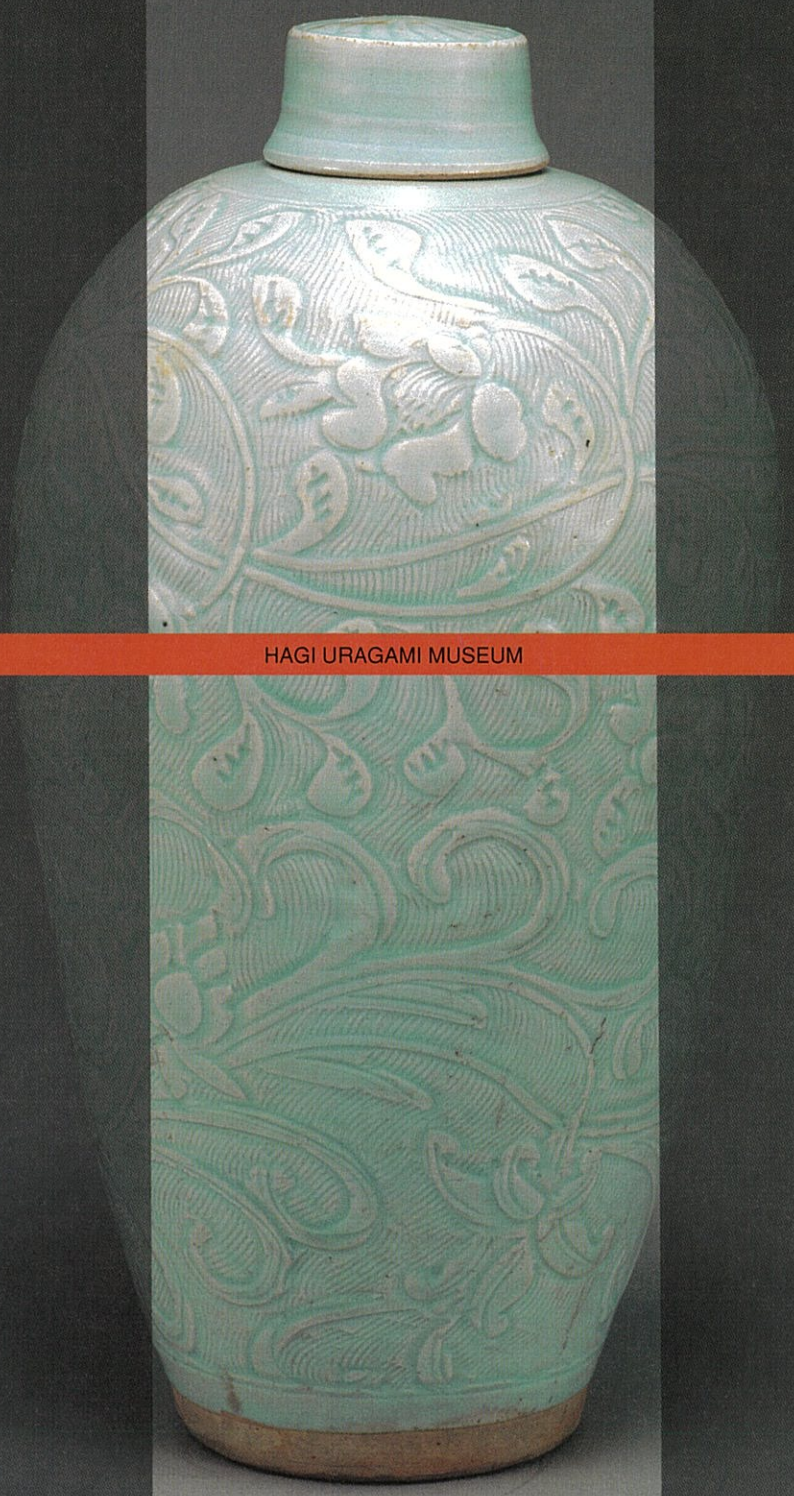


newly discovered southern song ceramics 13th century [time capsule]

なぞのタイムカプセル  
「封印された南宋陶磁」展

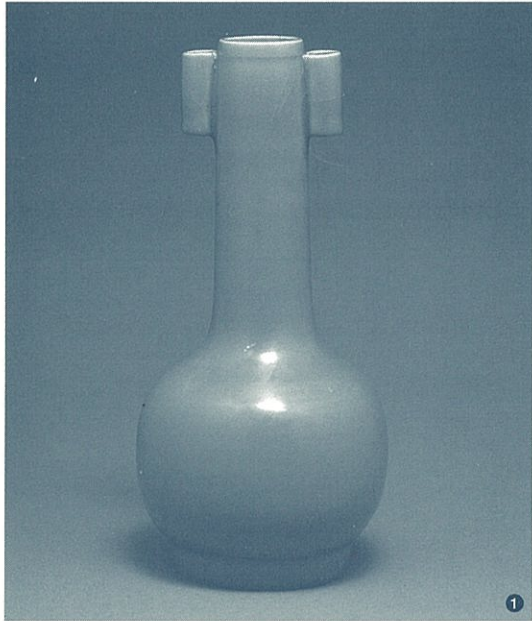
1998年10月10日(土) → 11月15日(日)

開館 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
入場料 / 一般730円(620円)・学生510円(410円) 高校生以下無料 ( )は20名以上の団体料金  
主催 / 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、YABI山口朝日放送  
後援 / 萩市、九州朝日放送、広島ホームテレビ  
協力 / 日中文物事業協議会

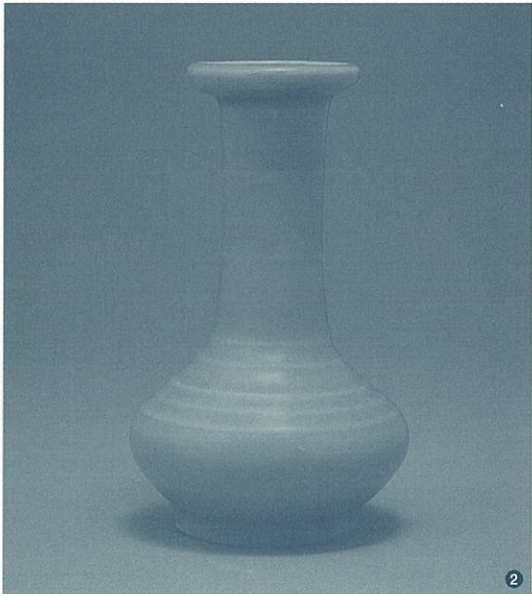


HAGI URAGAMI MUSEUM





1



2



3



4



5

1991年、中国の四川省成都の東にある遂寧市付近の金魚村という村で、地下1メートルの穴に埋めてあった陶磁器、青銅器、石器1005点が発見されました。このうち大半を占める陶磁器には、南宋時代(13世紀)の龍泉窯の青磁や景德鎮窯の青白磁、定窯の白磁が含まれていました。いずれも中国陶磁の中でも珠玉の逸品で、このうち40点が国家重要文物に認定されています。このように質の高い陶磁器が大量に出土した例はかつてなく、あの有名な秦の始皇帝の兵馬俑と並ぶ中国10大考古発見のひとつにあげられています。

文献によれば、この地は南宋末に遂寧府がおかれ、1236年にはモンゴルの大軍の進入を受けています。中国の研究者はこうした事実をつきあわせ、これらの出土品が、モンゴル軍による略奪を恐れて埋蔵された美術品であった可能性が高いと発表しました。

いったい誰が何のために、これほどたくさんの、しかも最高級の陶磁器を地下に埋めたのでしょうか、今回の展覧会では陶磁器のほか、青銅器や石器あわせて136点を展示します。

800年ぶりに再び姿をあらわした南宋陶磁は、今も多くの謎をはらんだまま、美しい輝きを放っています。

表紙 青白磁刻花唐草文共蓋梅瓶 景德鎮窯

- 1 青磁管耳瓶 龍泉窯
- 2 青磁筭形瓶 龍泉窯

3 青磁共蓋酒会壺 龍泉窯

- 4 青白磁蛙形水盂 景德鎮窯
- 5 青磁五管瓶 龍泉窯

**同時開催**

- 神祕の王国・部国王墓展(1期)  
9月12日(土)~11月1日(日)
- 戯園展  
10月10日(土)~11月1日(日)
- 相撲絵展  
11月3日(火)~11月29日(日)

**ギャラリートーク**

- ギャラリートーク開催日  
10月11日(日)、18日(日)、25日(日)  
11月1日(日)、3日(火)、8日(日)
- ギャラリートーク開催時間  
11:00~12:00

□教育・文化期間(11月1日~7日)は、一般・学生とも無料です。

**A C C E S S**

■交通のご案内

- JR東萩駅=タクシー10分/徒歩30分
- JR小郡駅=バス70分  
(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 石見空港(島根県益田市)=バス75分  
(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 中国自動車道=小郡I.C.美祿I.C.より各50分

お問合せ先/〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401

newly discovered southern song ceramics 13th century [time capsule]